

様式第2号（第5条関係）

平成30年4月10日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 藤本光行



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成30年2月8日 ～ 平成30年2月9日まで
- 2 旅 行 先 名古屋市
- 3 目 的 「住民が読みたくなる議会広報紙づくり」参加
- 4 関係書類 別紙のとおり



759.580

日 時	平成30年2月9日 10:00～17:00
視 察 先	名古屋都市センター
調査事項	議会広報基礎講座 読みたくなる広報誌づくり及び 広報誌クリニックの受講
対 応 者	講師 吉村 潔氏
1. 調査目的 2. 調査内容 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	1 議会だよりの充実強化のために専門家の講義を受け、これからの紙面づくりに生かす。 4 議会全体の活動をすべての町民にわかりやすく開示し、議会の見える化を図る情報公開ツールとして、議会だよりはとても重要と考える。 自身も、議会だより編集委員を4年ほど経験しわかりやすく多くの町民に読まれる紙面づくりに注力してきた。全国の議会広報コンクールにおいても入選を果たすなどの実績もあるが、より充実したものとするための考え方や、インターネット社会となった最近のトレンドなどを学習してきた。 議会で起こった出来事を見やすく、わかりやすく表現することが基本中の基本であり、文字だけの羅列にならないようデザイン性や余白の使い方などに工夫が必要であるが、そのためのデザインソフトの使いこなしが必要と感じた。 一つの考え方として参考になったのは ・紙面の中に住民参加の企画を多く取り入れること。 ・一般質問など要約された記事にはQRコードを付けて議会ホームページへ直接飛んでいけるようにすること。 などがあった。ぜひ検討すべきと考える。 「議会が見えない」と叫ばれるようになってから久しいが、最も基本的情報公開ツールとしての議会だよりの充実に向けて、不断の工夫をしていかなければならない。